

北九州市要望事項

| 要望項目 | 要望の要旨 |
|--|--|
| <p>1 新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策に伴う医療体制の強化</p> <p>・介護人材の確保・定着に向けた更なる支援</p> | <p>新型コロナウイルス感染症の影響から市民生活を守り、「新しい生活様式」を継続的に実施するためには、行政からの支援が必要不可欠です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関では経営の悪化や感染防護医療物資の不足、感染症対策の基盤である保健所や地方衛生研究所では限られた人員体制の中で運営を行うなど、大変厳しい状態です。</p> <p>また、治療薬、ワクチンがない中で、市民は非常に不安な生活を強いられています。</p> <p>こうした事情を踏まえ、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営悪化に対する直接の支援措置を講じること 2 医療施設や福祉施設等におけるマスク、ガウン、消毒液等の感染防護医療物資の継続的な確保を図ること 3 保健所や地方衛生研究所の効率的な運用が図れるように、陽性患者の検体の搬送、情報システムの構築等の経費について必要な財政措置を行うこと 4 治療薬、ワクチンを早期に開発するとともに、安定的な供給体制を構築すること <p>介護事業所においては、慢性的に人材の不足感が生じていますが、感染防止対策等による業務量増加により、その深刻さを増しています。さらに、職員が感染等した場合、人材の不足感は一層増すこととなります。</p> <p>介護サービス従事者が介護の現場で安心して働くことができるよう、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 業務量増加への対応やクラスターの発生等による一時的な人員不足が生じた場合に、円滑な事業継続を支援するため、国主導で介護事業所へ人材を派遣する仕組みを構築すること 2 介護施設等の最前線で対応している介護職員が安心して働くための継続的な支援として、労働環境改善を要件とした介護職員処遇改善加算の更なる拡充を行うこと |

| 要 望 項 目 | 要 望 の 要 旨 |
|--|---|
| <p>・ひとり親世帯への支援制度の充実・強化について</p> <p>・放課後児童クラブ及び保育所への新型コロナウイルス感染症対策にかかる継続的な支援について</p> | <p>ひとり親世帯においては、新型コロナウイルス感染症の影響から、引き続き、生活費等の負担増加が考えられます。ひとり親世帯の実態やニーズに即した支援の充実・強化のため、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症の影響が長期化した場合は、ひとり親世帯への臨時特別給付金を再度支給すること 2 本市は独自の取組みとして、食事のデリバリーサービス等を利用した場合の助成を行っており、このような取組みに対する補助金の創設等、財政支援を行うこと <p>放課後児童クラブ及び保育所において、子どもや施設職員の「新しい生活様式」を継続的に実施し、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底しながら円滑な運営ができるよう、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 マスクや消毒液、感染防止用の備品（空気清浄機等）等を購入する経費の補助 2 運営の質の確保・向上のため、各クラブや保育所内でWEB研修を受けられるよう、端末購入等経費を補助対象に加え、国負担を10/10に変更すること 3 外部から保育所内への感染防止のため、通常以上の労力が必要であることから、保育士の負担を軽減させるための保育補助員（常勤）の配置 4 感染の恐れがある中で、子どもと密着しながら業務に従事する保育士を対象とした新たな手当の創設 |

| 要 望 項 目 | 要 望 の 要 旨 |
|---|---|
| <p>・教育機関への新型コロナウイルス感染症対策にかか る支援について</p> | <p>教育機関においては、空き教室の普通教室への転用、プレハブ仮設校舎の設置等、三密防止対策を迫られています。</p> <p>また、「GIGAスクール構想の実現」において進められている1人1台端末整備は、臨時休業時の家庭学習に役立つものですが、通信環境がない家庭に対する通信環境の整備と通信料は、要保護世帯では生活保護費に算定されるものの、就学援助世帯への対応については、自治体側にとって大きな財政負担となります。</p> <p>こうした事情を踏まえ、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不足教室対策としてのプレハブ仮設校舎設置費を国庫補助の対象とすることや、工事期間中のプレハブ仮設校舎も補助対象面積に含めるよう国庫補助要件を緩和すること 2 就学援助家庭の通信料について国庫補助等による財政支援を行うこと <p>以上、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い致します。</p> |

北九州市内店舗限定(7~9月利用)

ひとり親世帯 を対象にした 食事デリバリー サービス 助成事業



新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまで以上に負担が増えている
ひとり親世帯(児童扶養手当受給者)の方を対象に
飲食店等におけるデリバリーサービス等のご利用につき、
5,000円を上限に助成します。

お問い合わせ・申請先

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

北九州市子ども家庭局子育て支援課
デリバリー助成担当

TEL (093)582-2410

詳細は裏面もしくは
北九州市ホームページを
ご覧ください。

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ko-katei/11700296.html>



食事デリバリーサービス助成事業について

ご利用の内容

支給対象者 児童扶養手当受給者(令和2年6月分受給者を対象にします)

対象内容

- 市内店舗(市外は不可)で、**食事のデリバリー** もしくは **テイクアウト** の利用が対象(店舗内での食事は対象外)。
- 食品・食材のデリバリー** も対象とします。



利用期間・助成額

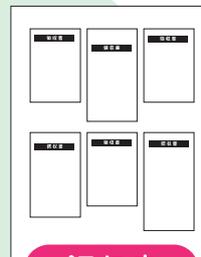
令和2年7～9月の3ヶ月間で **合計5,000円**
7月1日～ ← 8月 → ～9月30日

利用期間中に支払った **合計利用金額の5,000円/世帯** までを助成

※100円未満の端数は切捨て

申請

デリバリーサービスまたはテイクアウトを利用後、同封の申請(請求)書に必要事項を記入のうえ、領収書(※)とともに市へ郵送してください。市への請求は **利用分をまとめて** 請求してください。



請求は
1回限り



同封の申請(請求)書に必要事項を記入の上、領収書とともに市へ郵送。

合計5,000円までを助成します

申請(請求)書

領収書

※申請期限は9月30日まで

支払時期

市への請求があった月の翌月末までに、児童扶養手当の振込口座に振り込みます。

※
ご注意ください!

※市に助成金を請求する際、

必ず「①日付」「②店名」「③お店の住所」「④注文内容」「⑤金額」がわかる**領収書又はレシート**が必要です(写しも可)。

※電子マネーやクレジットカードを利用する場合、必ず店の方から上記の日付等が分かる領収書を**その場で**受け取ってください。

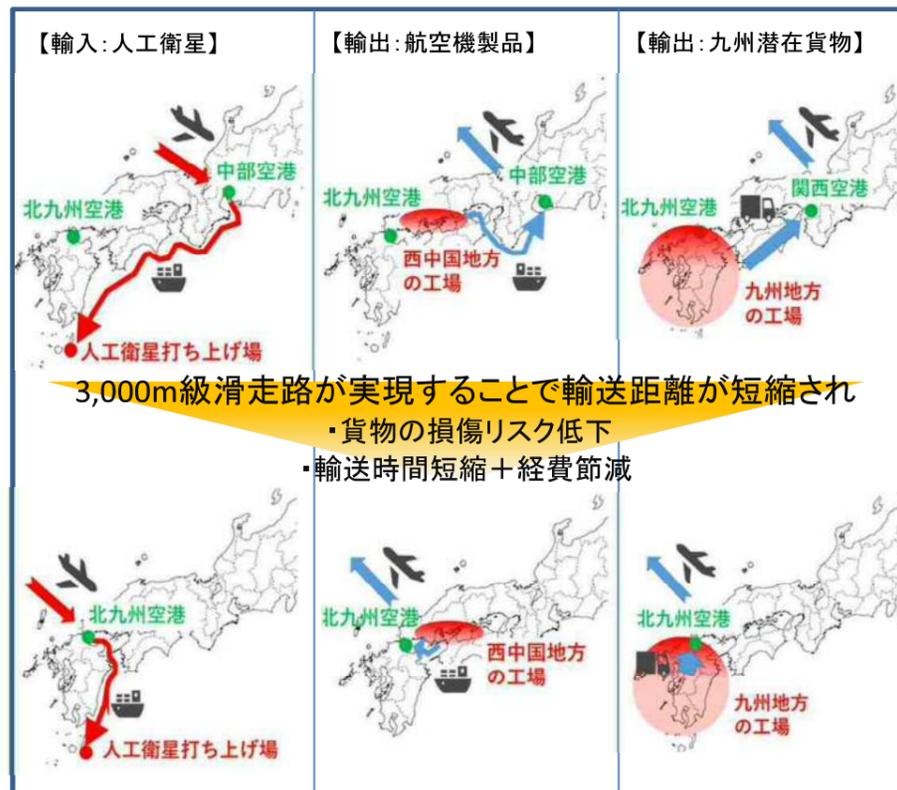
※日付等の確認ができない場合、助成金のお支払いができません。

| 要 望 項 目 | 要 望 の 要 旨 |
|---|---|
| <p>2 北九州空港の機能 拡充・活性化に向 けた支援</p> | <p>北九州空港の機能拡充を通じて国内国際の航空ネットワークの形成・充実を図ることは、ものづくり産業の集積が進む北部九州圏の経済活性化のために必要不可欠であり、新型コロナウイルス（Covid-19）の世界的な流行により減衰した我が国の経済回復に寄与するとともに、終息後の国の「経済財政運営と改革の基本方針」等に盛り込まれた施策の実現に資するものと考えています。</p> <p>そんな中、本年4月、国の令和2年度当初予算において、北九州空港が目指す「九州・西中国の物流拠点空港」の実現に向けての大きな一歩となる北九州空港の滑走路延長に係る調査費が計上されました。北九州空港の機能拡充・活性化へのご支援に深く感謝申し上げます。</p> <p>北九州空港の物流拠点化への具体的な動きも始まっており、令和元年11月には、新たに大韓航空が貨物定期便を就航しております。また、本年1月には特殊大型貨物の輸送で世界的な航空会社であるボルガ・ドニエプル航空が、北九州空港の利便性を高く評価し、県・市と利用促進にかかる覚書を締結したところです。</p> <p>こうした事情を踏まえ、北九州空港の機能拡充、利用促進について、以下の事項に特段のご配慮をお願いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 3,000m級滑走路の早期事業化に向けた協力 2 貨物エリアの整備と、物揚場までの輸送経路の確保 3 災害時における代替アクセス手段の確保 4 新門司沖土砂処分場（3工区）の活用に向けた協力 5 三菱スペースジェット飛行試験の協力 6 Covid-19流行下における地方の航空路線の維持について（航空会社への支援） |

■北九州空港の機能拡充（イメージ図）



【3,000m級滑走路実現による整備効果の一例】



●事業者からの声

物流事業者: 24時間運用可能で貨物空港として発展する要素を兼ね備えているのに、滑走路が3,000m無いのが不思議です。

荷主: 航空貨物は「時間がお金に換算される」の一言に集約されます。いかに早く運べるかが極めて重要であり、さらに輸送距離が短くなれば貨物の損傷リスクも低減します。

物流事業者: 滑走路が3,000mあれば欧米直行便の運用が可能となり、荷主として非常にありがたい。九州発着の欧米向け貨物を北九州空港でかなり集荷できると思います。